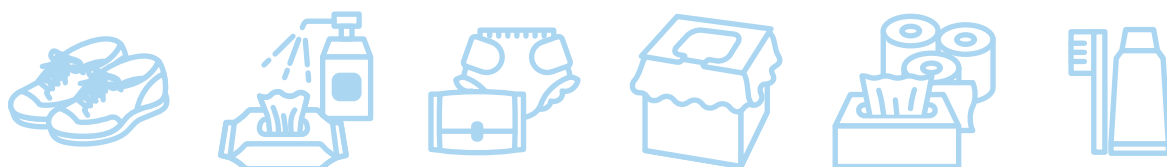


# 宇部市防災 ガイドブック

いつ、どこで起きるかわからないのが災害です。  
「自分の命は自分で守る」ことを第一に考え、  
災害に備えましょう。



住んでいる所の**危険性**を確認しておこう! … 2 ページへ

**いつ避難**したらいいの? …… 3 ページへ

**大雨・台風**のとき …… 4 ページへ

**地震・津波**のとき …… 8 ページへ

日頃から**備え**ておこう! …… 10 ページへ

**情報**を入手しよう! …… 11 ページへ

# 住んでいる所の危険性を確認しておこう!

## ハザードマップの調べ方・見方

ハザードマップとは災害が起こることが想定されるエリアや避難する場所などを表示した地図のことです。洪水、土砂災害、高潮など**災害種別ごと**に作成しています。ハザードマップは市ウェブサイトで確認できます。宇部市防災危機管理課でも確認できます。

**宇部市のハザードマップ**

危険な場所を確認しておきましょう

詳しくはこちら▶ 

**宇部市指定緊急避難場所**

指定緊急避難場所の確認もしておきましょう

詳しくはこちら▶ 

ハザードマップを見て、自宅や学校・職場の危険性を確認しましょう。

安全な避難経路と避難先を決めましょう。

## 厚東川洪水ハザードマップを例に見てみよう!

- 1 自宅・職場等、自分の生活圏に**“着色がされているか”**を確認。
- 2 マップ上の凡例を参考に、想定される被害状況を確認。

自宅などの危険性を確認

**凡例(地図の読み方)**

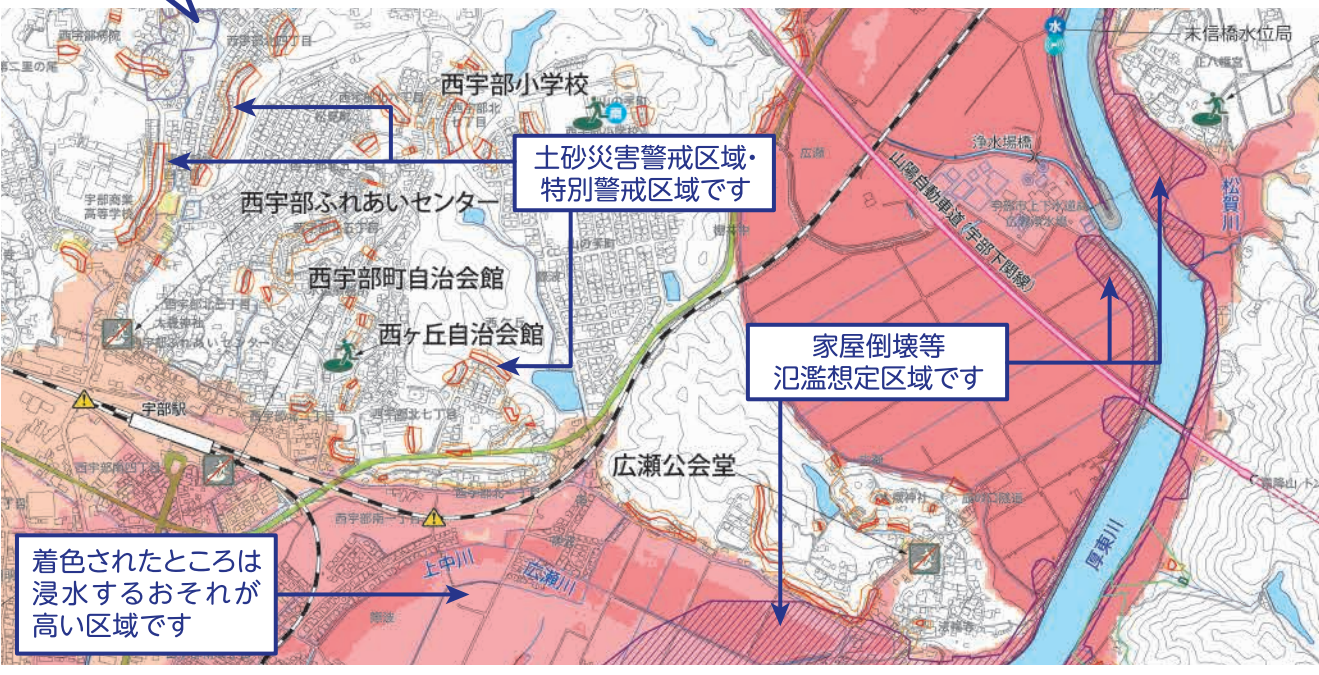
表記	名称	説明
	指定緊急避難場所	
	消防	
	警察	
	水位観測所	
	雨量観測所	
	ダム警報局	
	排水機場	
	アンダーパス	
	鉄道路線	
	高速道路	
	主要道路	
	市域界	
	水面	

**浸水想定区域図**  
 浸水の深さと状況  
 10m～  
 5.0m～10m (2階が水没)  
 3.0～5.0m (2階床下～天井)  
 0.5～3.0m (1階床下～2階床下)  
 ～0.5m (1階床下まで)

**避難行動**  
 早めの避難が必要な区域です  
 ● 浸水しない場所へ避難  
 ● 氾濫がすでに始まっている場合などは近くの安全な場所へ  
 ● 原則浸水しない場所へ避難  
 ● 周囲が危険な場合は、屋内の安全な場所で待機しましょう

**家屋倒壊等氾濫想定区域**  
 洪水時に家屋の倒壊や流失をもたらすような激しい氾濫流や河岸侵食のおそれがある地域です。  
 早めの避難が必要な区域です

**土砂災害警戒区域・特別警戒区域**  
 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)  
 ● 特別警戒区域(レッドゾーン)  
 ● 警戒区域(イエローゾーン)  
 土石流  
 ● 特別警戒区域(レッドゾーン)  
 ● 警戒区域(イエローゾーン)  
 地すべり



# いつ避難したらいいの？

災害の種類によって、避難のタイミングが違います。



## 地震

緊急地震速報(緊急速報メール)

安全な場所で

揺れがおさまるまで待つ

揺れがおさまったら、落ち着いて避難



## 津波

地震発生

海や川の近くにいる場合は  
津波警報が出ていなくても、  
すぐに高いところへ避難



## 洪水

## 土砂災害

## 高潮

### 避難情報が発令されたら 危険な場所から必ず避難!

大雨や台風の接近が予想される時は、テレビやインターネットなどで気象情報を確認するようにしましょう。



**気象情報を確認!**

警戒レベル

避難情報

とるべき行動

5

災害発生  
または切迫

**緊急安全確保**  
(市が発令)

命を守るための最善の行動をとる  
避難していない場合は、自宅内の安全な場所  
(2階など)へ

警戒レベル4までに、危険な場所から必ず避難

4

災害の  
おそれ高い

**避難指示**  
(市が発令)

すぐに安全な場所に  
**避難**

3

災害の  
おそれあり

**高齢者等避難**  
(市が発令)

避難に時間のかかる方

**高齢者など**

とその支援者は**避難開始**

# 洪水

大雨などで川の水位が異常に上がり、堤防の決壊や川の水が堤防を越えたりすることにより起こる氾濫を洪水といいます。



住んでいるところが川の氾濫で浸水するかどうか確認しておく

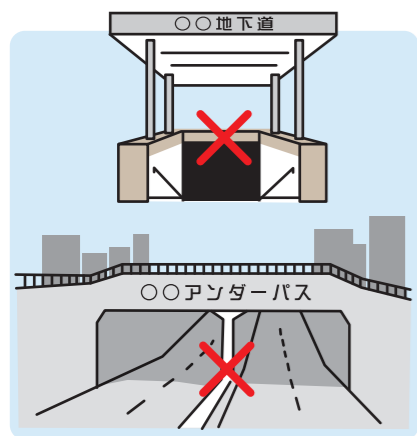


雨が降り出したら気象情報や避難情報に注意し、いつでも避難できるようにしておく



**家屋倒壊等氾濫想定区域**※にいる場合は、その場から離れる「**水平避難**」

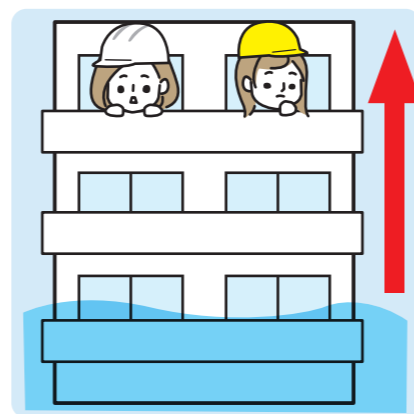
※洪水時に家屋の倒壊、流失のおそれがある地域



地下道、アンダーパスなどは通らない



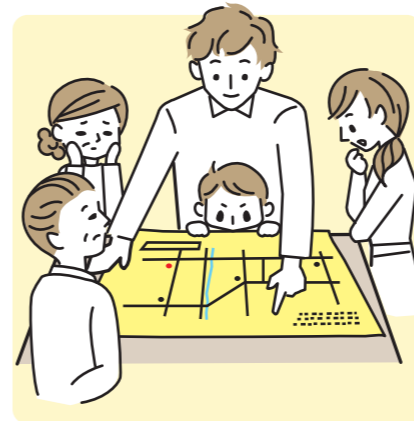
川や側溝に近づかない



夜間の避難や浸水してからの避難は危険  
その時は建物の上の階へ「**垂直避難**」

# 土砂災害

大雨や地震などがきっかけで、山の斜面やがけが崩れたり、山や川底の土砂が雨水などと混じって流れてくることにより、建物を押しつぶしたりすることを土砂災害といいます。



住んでいるところが**土砂災害警戒区域**※かどうか確認しておく

※土砂災害のおそれのある区域



雨が降り出したら気象情報や避難情報に注意し、いつでも避難できるようにしておく



**土砂災害警戒区域**やその周辺にいる人は早めに安全な場所へ避難



**土砂災害警戒区域**やその付近にいるときに避難情報がでたら、すぐに避難



屋外に出ることが危険な場合は、山(斜面)からできるだけ離れたより高い部屋に避難

## 豆知識 土砂災害の前ぶれ

- 地すべり**
- 井戸水が濁る
  - 地面にひび割れや段差ができる
- 土石流**
- 川の水が濁り、水と一緒に倒れた木が流れてくる
  - 雨は降り続けているのに川の水が減る
- がけ崩れ**
- がけから急に水がわき出る
  - がけから小石がパラパラ落ちてくる

# 高潮

台風などによって海面が異常に上昇する現象を高潮といいます。

## 過去最大の自然災害は高潮です!!

宇部市では、昭和17年の周防灘台風や平成11年の台風18号など、台風がもたらす高潮により甚大な被害を受けてきました。

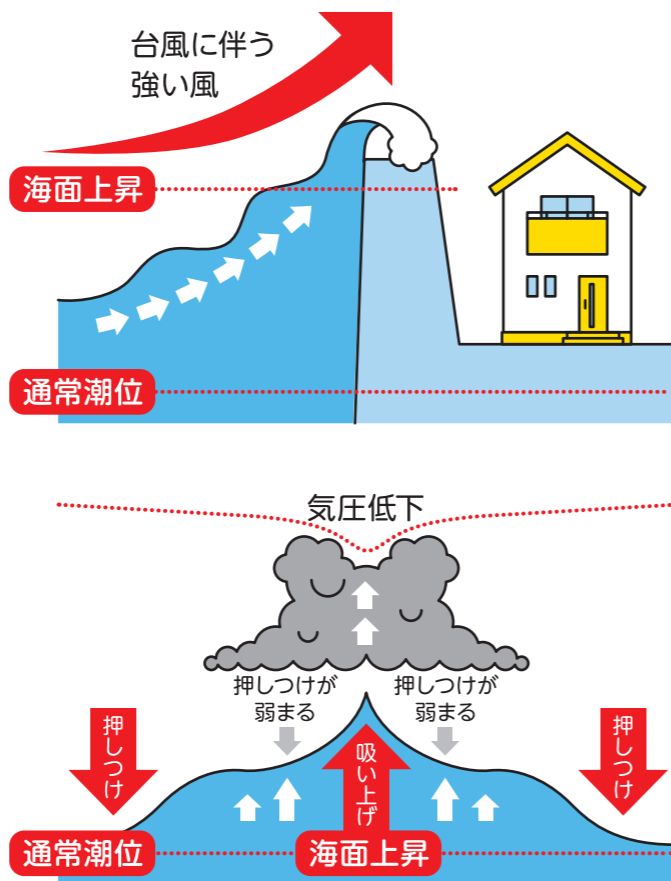
### 高潮が発生するしくみ

#### 風の吹き寄せ効果

強い風が海面の表面をなぞるため波が発生。水位を上げて陸地を襲います。

#### 吸い上げ効果

台風の中心気圧は周辺部より低いため、周辺部の大気は海面を押し付け、中心付近の大気は海面を吸い上げるように働きます。この結果、台風の中心付近の海面が上昇します。

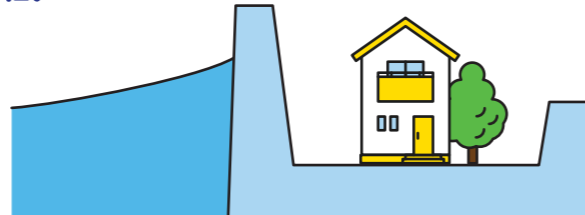


### 高潮の被害を受けやすい場所

#### 河口のまわり



#### 低いところ



住んでいるところが高潮により浸水するかどうか確認しておく



台風が発生したら最新の気象情報入手するようにしておく



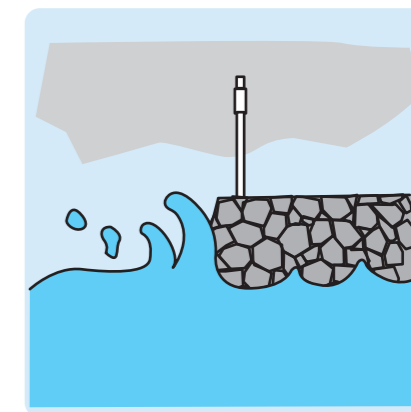
台風が接近するときは外出しない



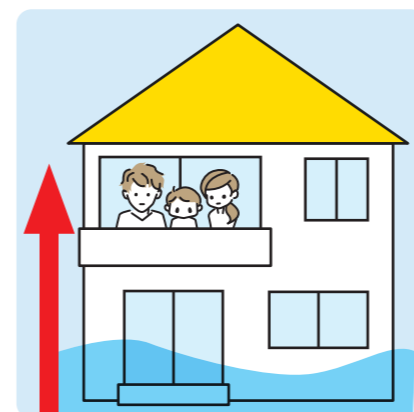
風や雨が強くなる前に、屋外に出している鉢植え、物干し竿など飛びそうなものを屋内へ



避難するなら風や雨が強くなる前に



海や川には近づかない



逃げ遅れたらその時は建物の上の階へ「垂直避難」



停電に備えて準備しておく

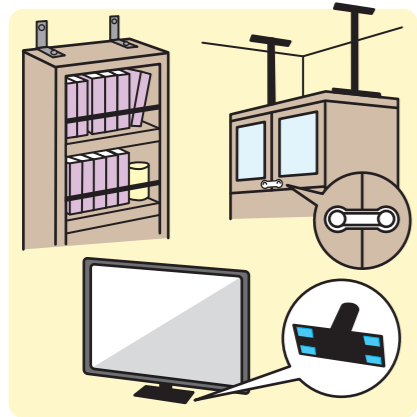
### 準備しておこう!

- 懐中電灯
- 充電式ラジオなど
- 乾電池
- モバイルバッテリー
- そのほか

ご家庭により必要なもの

# 地震

地震は突然起こります。緊急地震速報の受信や、大きな揺れを感じたら、落下物から頭を守りましょう。揺れがおさまったら周囲の安全を確認し、出口の確保などを行いましょう。



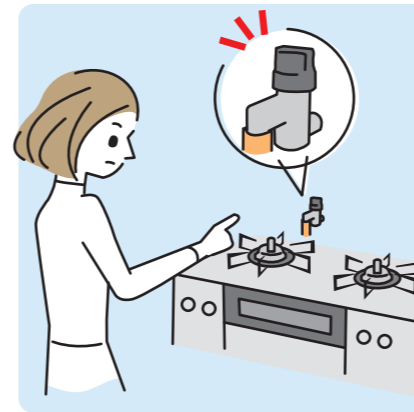
日頃から家具や家電は動かないよう固定  
落下防止・転倒防止具などを設置する



揺れを感じたら姿勢を低く、頭を守って、揺れがおさまるまで動かない



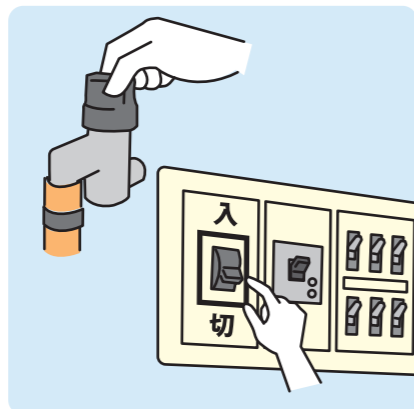
ドアを開けて避難路を確保する



落ち着いて火を止める、ガスの元栓を閉める



出火していたら初期消火をする



家から避難する前に火の元、ガスの元栓をしめ、電気ブレーカーを切る



避難するときは必ず靴を履く(サンダルなどはダメ)



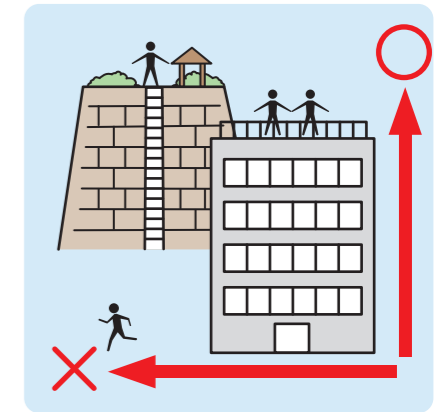
移動は原則、**徒歩**で行う

# 津波

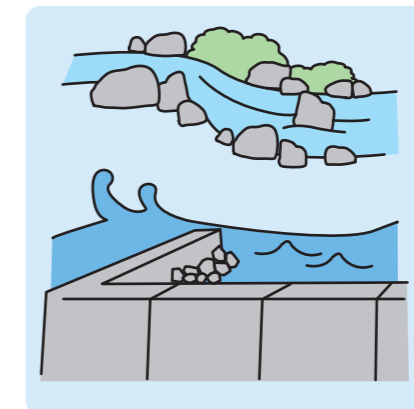
地震が起こると海水が動かされ津波が発生する場合があります。津波が発生したら、揺れが小さくてもすぐに高台や指定緊急避難場所等へ避難しましょう。



津波注意報、警報が出たらすぐに高いところへ避難



遠くではなく、少しでも高いところへ**徒歩**で避難



海や川には絶対に近づかない



津波注意報・警報が解除されるまで絶対に戻らない



# 非常用持ち出し品

避難する時に必要な最小限の物が非常用持ち出し品です。一人ひとりが自分にとって必要な物を考え、準備することが重要です。それらをリュックなどに入れ、玄関の近くや寝室などに配置しておけば、すぐに持ち出すことができます。

**MEMO**  
(自分に必要だと思うものを書いておきましょう)

例

 水	 懐中電灯	 充電式ラジオなど
 食品 (加熱せずに食べられる物)	 衛生用品 (ティッシュ・消毒液・マスクなど)	 健康保険証 持病の薬・常備薬
 おむつ・生理用品など	 防寒具 (ブランケットなど)	 携帯電話の予備バッテリー

# 自宅に備えたいアイテム

各家庭の抱える環境はさまざまですから、非常用持ち出し品とあわせて、必要な物を考えて備えましょう。

**MEMO**  
(自分に必要だと思うものを書いておきましょう)

例

 水	 食品 (レトルト・缶詰め・インスタントラーメンなど)	 乾電池
 食品用包装ラップ	 ヘルメット	 軍手
 簡易トイレ	 ゴミ袋 大型ポリ袋	 カセットコンロ ガスボンベ

**豆知識** 大切な物は  
紙製の証書や証明書、印鑑、大切な写真などはファスナー付きビニールケースに入れておくと、防水になります。

## 一人で避難できない人は災害時避難支援制度へ

災害時に何らかの要因により支援を必要とする方は「宇部市災害時避難支援制度」があります。問い合わせ／地域福祉課(TEL.0836-34-8325 FAX.0836-22-6026)



# 宇部市から発信

**宇部市ウェブサイト**


宇部市  検索



**宇部市防災メール (うべメールサービス)**

避難指示や宇部市に発表された警報などの防災情報をメールで受け取れます。

**登録方法** 登録・変更用アドレスにメールを送信し、返信される登録用メールに従い登録してください。  
登録・変更用アドレス bousai.ube-city@raidens2.ktaiwork.jp



**緊急速報メール (エリアメール)**

避難指示や緊急地震速報、弾道ミサイル情報などは、携帯事業者を通じて、携帯電話・スマートフォンで受け取れます。(事前登録不要)

**ネイティブ宇部アプリ**

iPhoneの方は [こちら](#) Androidの方は [こちら](#)

ネイティブ宇部  検索




**固定電話防災情報配信サービス**

避難指示など防災情報を配信すると固定電話の呼び出し音が鳴り、受話器を取ると防災情報の音声メッセージを聞くことができます。

**登録方法** 防災危機管理課 (TEL.0836-34-8139)までご連絡ください。

**宇部市防災情報FAX**

**登録方法** 防災危機管理課 (FAX.0836-29-4266)まで「防災情報 FAX希望」と明記の上、お名前とFAX番号をご確認ください。

**宇部市LINE公式アカウント**

避難指示などの防災情報をLINEで受け取れます。



**Facebook**

アカウント名「宇部市防災危機管理課」



**Twitter**

アカウント名「@ube\_bousai」(宇部市防災危機管理課)



## 防災屋外スピーカー・防災ラジオ

### 報道機関・インターネットなどから

**NHKニュース・防災アプリ**

iPhoneの方は [こちら](#) Androidの方は [こちら](#)

NHK防災アプリ  検索




※NHKサイトを離れます。


**Yahoo! 防災速報アプリ**

iPhoneの方は [こちら](#) Androidの方は [こちら](#)

Yahoo!防災速報  検索




**テレビ** リモコンの「dボタン」を押すと災害情報を表示出来ます。



**ラジオ** エフエムきらら(80.4MHz)など

**気象庁ウェブサイト**

気象庁  検索



## 携帯電話の災害用伝言板 (日本語・英語)

携帯電話から文字のメッセージを残したり、メッセージを読んだりすることができます。世界中のどこからでも見ることができます。

**登録**

災害用伝言板 被災地の方のみ情報の登録ができます。

登録 確認 削除

**伝言板登録**

▼状態  
 無事です。  
 被害があります。  
 自宅にいます。  
 避難所にいます。  
 ▼コメント(～100文字)  
 明日戻ります。  
※登録情報確認の際、登録されたお客様自身の携帯電話および登録日時が表示されます。  
 ※10件目以降は、登録済みの古い順に上書きされます。

登録

**確認**

災害用伝言板 被災地の方のみ情報の登録ができます。

登録 確認 削除

**伝言板確認**

安否を確認したい人の携帯電話番号を入力して検索ボタンを押してください。  
 携帯電話番号  
 XXX XXXX XXXX  
 検索

利用方法【画面例】

MENU

災害用伝言板  
 安否確認ご利用...

①マイメニュー  
 ②週間ガイド  
 おすすめ...  
 ③メニューリスト

「登録」は携帯電話からのみ可能

「確認」は携帯電話、パソコンから可能

## 災害伝言用ダイヤル (日本語) 171

電話で声のメッセージを残したり、メッセージを聞いたりすることができます。

※携帯電話からは使うことはできません。

**メッセージを残す**

171に電話する

録音の場合①

被災地の方の電話番号を入力 (XXXX-XXXX-XXXX)

1#

録音する

**メッセージを聞く**

171に電話する

再生の場合②

被災地の方の電話番号を入力 (XXXX-XXXX-XXXX)

1#

再生する

# 防災メモ

災害は家族が一緒にいるときに起きるとはかぎりません。記入したら、コピーをするか各自で携帯電話で撮影して保存しておきましょう。

## 避難場所・集合場所

災害の種類	避難場所 (第1候補)	避難場所 (第2候補)	集合場所・連絡手段 (避難場所で会えないとき)
洪水			
土砂災害			
高潮			
地震			
津波			

## 家族・支援してくれる親戚や知人の連絡先

なまえ	血液型	電話番号	メールアドレス	メモ

被災地域内では電話がつながりにくい状況でも、被災地外への連絡は比較的つながりやすい場合があります。遠くに住む親戚や知人を連絡先としてあらかじめ決めておき、いざという時に中継してもらう方法も有効です。



消防・救急

1 1 9

警察

1 1 0